事業名	期日	場所
南北海道市町村連絡会議	２月 27 日	函館市
活動報告	町長の想いや願い	

函館市・北斗市、渡島管内９町、檜山管内７町で構成する南北海道市町村連絡会議が開催されました。

この度は、国が平成 21 年４月から推し進めている『定住自立圏構想』を、当初、檜山管内での立ち上げを考えたが、要件が満たされず、函館市を核とした構想ということで投げかけをしてきている経過があります。

しかし、函館市・北斗市・渡島管内各町の合意ができてきていないことから、本事業の在り方を総務省の指導を伺いたいとして開催されたところです。

総務省からは、北海道庁に総務・財政の担当課長としての経験を持つ地域力創造グループ自立応援課の牧慎太郎課長を講師に迎え、講演がおこなわれました。

講演内容は、構想の背景と課長からは地域振興のポイントは　①　交流人口を増やす　②　一人一人の価値を高める　ことが重要であるとして、概要説明をされました。

更には、先進取り組み事例に基づき、この圏域においても、点としてではなくエリアとしての特性をどう生かすか。函館市を中心とした経済エリアとしてのポテンシャルをどう生かすかであるとして、優位性を強調されました。

少なからずメリットは明らかであり、圏域自治体が共同意識を持ち、共生ビジョンを描き。実現出来るよう努めたいと意を強くしたところです。





